

野洲川地域安全懇談会の連携取り組みのキックオフ！ ～自転車による現地調査を実施～

H29. 3. 16

琵琶湖河川事務所

琵琶湖河川事務所は、関係機関と連携し野洲川地域安全懇談会を設置し、「野洲川の取組方針（H28.6.30決定）」に基づき、水防災意識社会の再構築に向けて取り組んでいます。

野洲川では、水害経験のない世代の避難等に関する知識が十分でなく、氾濫に対する危機意識を持った住民が少ないという課題があります。

野洲川下流部は昭和54年に付け替えられた放水路であり、周辺地域は平坦で自転車での移動が容易であることから、避難経路や避難場所の把握に自転車を活用することが可能です。

そこで、懇談会構成機関の連携取り組みのキックオフとして、自転車による野洲川周辺の調査を実施しました。

概要

第1回サイクリングによる野洲川周辺の現地調査

○日 時：平成29年3月14日（火）10：00～16：30

○場 所：野洲川沿川（守山市・野洲市・栗東市）

○参加者：関係機関職員16名（守山市、野洲市、湖南市、琵琶湖河川事務所）



自転車での調査状況



調査ポイントでの説明状況



出張所での意見交換

調査概要

- ・取組方針では、住民との連携を想定しており、これに先立ち懇談会関係職員が調査を実施。
- ・住民を対象とした場合のコース設定やチェックポイントを順に確認。
- ・各ポイントでは、パネルを用いて野洲川の現状を説明。
- ・調査コースの全長約30km。
- ・調査ポイント（破堤箇所、廃川跡の公園、改修記念碑、落差工、堤防強化工事予定箇所）

ルートマップ▶



▲説明用パネルの例

参加者の感想

- ・野洲川沿いを初めて走り、知らなかったことを知ることが出来た。
- ・野洲川から見た比良山、三上山や新幹線が良かった。市民へアピールできるポイントになると思う。
- ・自転車利用を前提とした場合の、安全対策について、必要箇所を把握することが出来た。
- ・今回のチェックポイントは石碑が多かったが、住民を対象とした場合には寺社仏閣などバリエーションを持たせる工夫が必要ではないか。
- ・チェックポイント間の移動時に見ることができる景観もマップに記載すべき。

大規模水害が起こりうること、また、琵琶湖水位の影響を受け浸水が長期に及ぶことを念頭に、「自ら行動し、地域の防災力を高め」、「社会経済被害を最小化」するための取り組みを実施し、水害に強い地域を目指します。

野洲川
地域安全
懇談会
2015.12.3

野洲川の
防災情報
ポータル
サイト

youtube
公式チャンネル
Biwakokasen CH

【問い合わせ先】
国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所 調査課
077-546-0867

